



---

# 法教育演習

## 募集要項

---



## 【目次】

1. 募集について	1 頁
2. 募集に関する注意事項	1 頁
3. 選考方法	1 頁
4. ゼミ内容	2 頁
▶ 今井 秀智 先生	

# 1. 募集について

## 【募集スケジュール】

募 集 日 程	
応 募 期 間	9月3日(木) 12時 ~ 9月9日(水) 12時50分
選 考 期 間	9月10日(木) ~ 9月16日(水)
合 否 発 表	9月18日(金) 20時予定

## 【応募方法】

[K-SMAPY II](#) より

※ログイン後、上部バナー「アンケート」より応募してください。

# 2. 募集に関する注意事項

(ア) 上記の募集期間に必ず応募してください。応募期間外の応募は認められません。

(イ) K-SMAPY II からの応募がなく、課題の提出だけをしている場合、応募は受け付けられません。

(ウ) 提出期限を過ぎたレポートは認められません。

(エ) 選考に合格後、他の教員への変更・科目取り消しはできません。

(オ) 「法教育演習」応募に関する問い合わせ先は以下のとおりです。

## 【問い合わせ先】

教務課	① 10時~12時40分 ②13時40分~18時
-----	--------------------------

※月曜日~金曜日で受け付けます。

※土・日曜日・祝日は学年暦に準じ、授業実施日に限り開室いたします。

# 3. 選考方法

希望する教員の選考方法を確認してください。

例年、レポートの提出期限や面接日時を間違えているケースがありますので、ご注意ください。

教員名	選考方法	提出方法・レポート締切日時		レポート内容	備考
今井 秀智	レポート	提出方法	メール送付 himai@tokyokaichi-law.jp	これまでの勉学で得た法的事項で、中学生、高校生に伝えたいものをあげ、その内容と授業プランを述べよ	(書式) Word A4 (字数) 2枚以内
		締切日時	9月16日(水) 12時00分まで		

## 4. ゼミ内容

教員名	今井 秀智
演習テーマ	法教育を実践（法やルールを学び、小・中・高等学校で授業を体験してみる。）
演習内容	<p>法教育入門等を履修し、法や司法制度、これらの基礎になっている価値を理解し、法的なものの考え方を身につけるための教育（法教育）を高校生、中学生、小学生に法教育を施す体験をする。</p> <p>人と人がぶつかり合う題材（NHK・Eテレ「昔話法廷」等）を元に議論し、紛争の解決のためにいかなる「ものさし(解決基準)」が必要なのかを考え、法やルールがなぜあるのか、なぜ守らなければならないのか、守らなかったときに制裁が加えられるのはなぜかなどの考察を通じて、法や司法制度の根源的価値を学ぶ。</p> <p>また、立憲主義教育、シチズンシップ教育にも検討・考察対象を広げ、主体的で責任ある主権者となるための基礎的な能力を習得する。</p> <p>これらの素養を身につけた後、後輩である小・中・高校生に対し、「法やきまり、ルール」に関する授業を実際に行うことを通じて、自身が学んだ法の理念や原理についての理解を深めるとともに、市民に対し法を伝え導くという法律家として必要な能力を養成するきっかけとする。</p>
教科書	特に指定しない。
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東京大学法科大学院・出張教室 「ロースクール生が出張教室～法教育への扉を叩く9つの授業」（商事法務）</li> <li>・ 大阪弁護士会法教育委員会「法むる一む 改訂版」（大阪弁護士共同組合）</li> <li>・ 教師と弁護士でつくる法教育研究会編「教室から学ぶ法教育」（現代人文社）</li> <li>・ 江口勇治、大倉康裕「中学校の法教育を創る-法・ルール・きまりを学ぶ」（東洋館出版社）</li> <li>・ 橋本康弘「教室が白熱する“身近な問題の法学習”15選」（明治図書出版）</li> <li>・ 今井秀智「実録法教育Ⅰ第2版」（一般社団法人リーガルパーク）</li> </ul>
応募条件	
備考	